

プレスリリース

1. ヒラメ稚魚放流 9月12日 中国新聞

尾道市因島三庄町、三庄小の児童百五十九人が十一日、同町の浜辺からヒラメの稚魚約六千五百匹を放流した。稚魚は体長一〇センチ前後。因島大浜町にある福山大生命工学部海洋生物

ヒラメ6500匹 大きく育てて 因島 児童が稚魚放流



ヒラメの稚魚を放流する三庄小の児童

(石田 憲)

育成工学研究室が、研究は、ひさ下まで海に入り、のためよ化させ百日かけ「大きく育ててね」と次からハゲツに稚魚を分け、同小が全学年を対象に、生命や自然環境の大切さなどを学ぶ授業として実施した。稚魚は一年後には体長三〇センチ、一歳ぐらいに成長する。三年の森あゆがちゃん(9)は「大きい魚に食べられないように」と願っていた。

2. 第4回因島種苗生産技術交流会 月刊養殖 9月号

REPORT

第4回因島種苗生産技術交流会



高野元弘氏(岡山大学)、高野元弘氏(岡山大学)、高野元弘氏(岡山大学)、高野元弘氏(岡山大学)

本日の種苗生産技術交流会は、尾道市因島三庄町の三庄小学校で開かれた。岡山大学の高野元弘教授が基調講演を行い、種苗生産の重要性について話した。高野氏は「種苗生産は、水産物の生産の基礎となる。種苗の質を高めることで、生産物の品質も向上する。また、種苗生産は、水産物の生産の持続性にも貢献する。種苗生産の技術は、水産物の生産の発展を支える重要な役割を果たしている」と話した。

交流会では、高野元弘教授の講演に加え、岡山大学の種苗生産技術センターの職員が、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。

交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。

交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。

交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。

交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。



第4回因島種苗生産技術交流会 現在研究中の種苗生産技術など発表 生産者との意見交換にも熱が入る



出席者から多くの質問が寄せられた。

生産現場の技術交流を目的とした、尾道市因島三庄町の三庄小学校で開かれた、第4回因島種苗生産技術交流会が、9月12日(日)に開催された。交流会には、岡山大学の高野元弘教授をはじめ、尾道市関係者や生産者など約50名が参加した。交流会では、高野元弘教授の講演に加え、岡山大学の種苗生産技術センターの職員が、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。

交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。

交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。また、交流会では、種苗生産の現場を視察し、技術の向上を図った。

